

平成30年6月25日(月) 第6号



きふね

北九州市立貴船小学校

〒802-0074

小倉北区白銀2-8-1

TEL921-3971

文責：校長 新森 修二

目指す子ども像

<き> きまりを守る子ども

<ふ> 振り返り、よく考える子ども

<ね> 粘り強くがんばる子ども

スクール救命士の講習がありました。

この講習では、意識を失って倒れている人がいた場合に、どのように対応したら良いのかを学びます。意識の確認や助けの呼び方、心臓圧迫の仕方、そしてAEDの使い方などを教えていただきました。

私たちは、いざという時に慌てたり、どうして良いのかが分からなかったりして、困ることがあります。実際、私は、自分の子どもの怪我で救急車を呼んだことがあります。その時、慌ててしまい、「119番」が思い出せませんでした。とても怖かったことを覚えています。

この講習のように少しでも対処の仕方を学んでおけば、何かの役に立てることができるかもしれません。

子ども達の感想です。

「教えてもらった時、きつくて大変でした。だから、本当に人が倒れている時の方がもっと大変だと感じました。心臓マッサージは、骨を折ってしまいそうで、ちょっと怖かったです。だけど、誰かのために人助けができるのは良いことだと思います。なので、どこかで今日学んだことを活かしたいです。」



心臓マッサージの練習をしています。

水泳の学習が始まりました。

6月21日(木)にプール開きがありました。

まずは、5・6年生が最初の水泳の学習を行いました。まだ、水を入れてからそれほど時間が経っていないため、子ども達は水を冷たく感じたようです。

また、22日(金)には、1・2年生が、「水遊び」をしました。水が苦手な子どももいます。少しずつ慣れていって欲しいと思います。

水泳の学習では、学ぶことも多いですが、危険な面も多々あります。きまりを守ることがとても大切です。みんなできちんときまりを守って、学習に取り組んでいきましょう。



きちんとプールに入ってきています。



水に慣れる活動をしています。